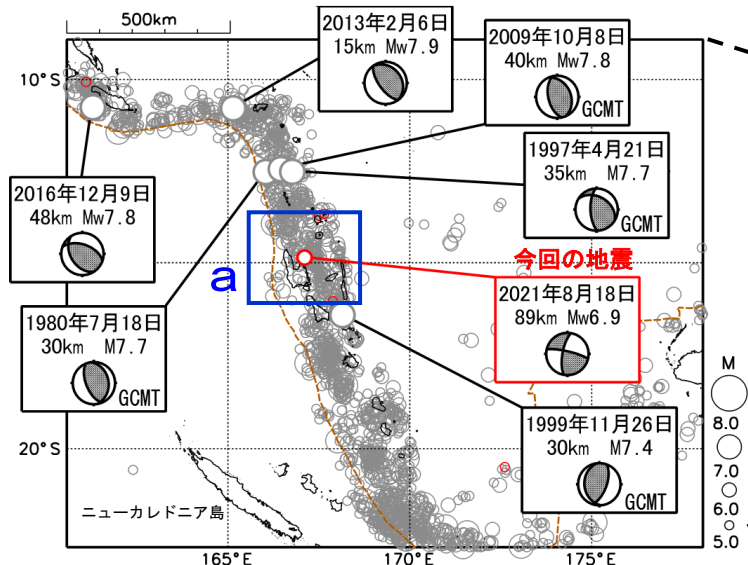


8月18日 バヌアツ諸島の地震

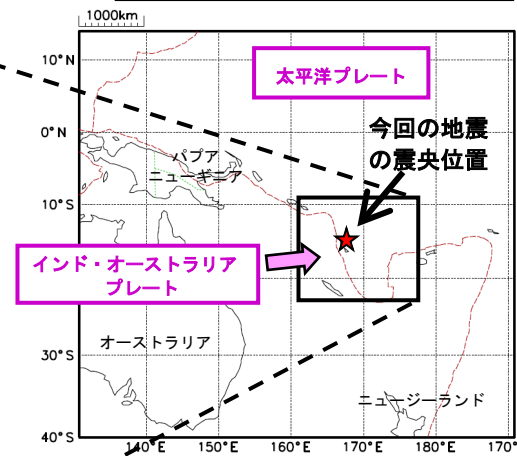
2021年8月18日19時10分（日本時間、以下同じ）バヌアツ諸島の深さ89kmでMw6.9の地震（Mwは気象庁による）が発生した。今回の地震は、太平洋プレートに沈み込むインド・オーストラリアプレートの内部で発生したと考えられる。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。気象庁はこの地震に対して、同日19時30分に北西太平洋津波情報、19時34分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。なお、今回の地震による現地の被害は報告されていない。

バヌアツ諸島周辺は活発な地震活動がみられる領域で、1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域c）ではM7.0以上の地震が5回発生している。また、1999年11月26日に発生したM7.4の地震では、津波などにより死者10人、負傷者40人の被害が報告されている（「世界の被害地震の表（古代から2002年まで）」、宇津、2004による）。

震央分布図
(1980年1月1日～2021年8月31日、深さ0～300km、M \geq 5.0)
2021年8月の地震を赤く表示

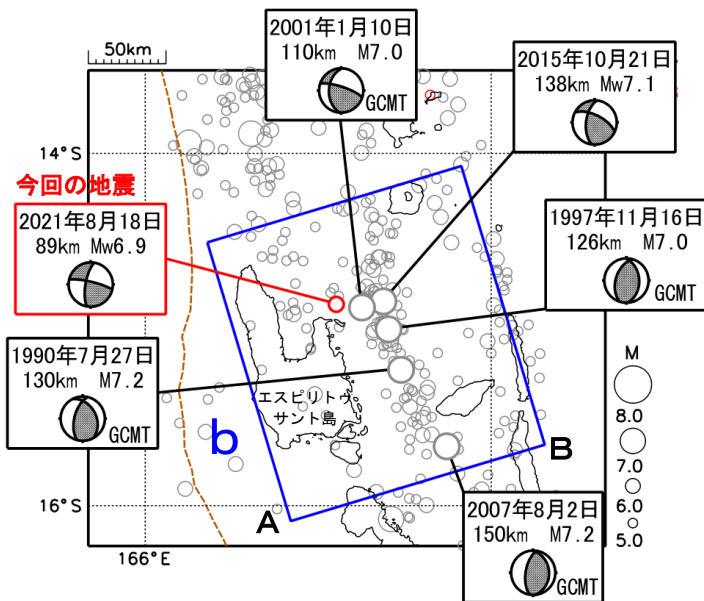


--- プレート境界の位置
← プレートの進行方向

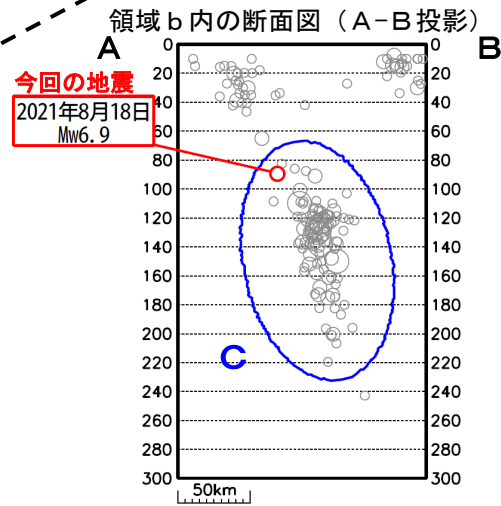


※吹き出しは、今回の地震と1999年11月26日の地震及びM7.7以上の地震

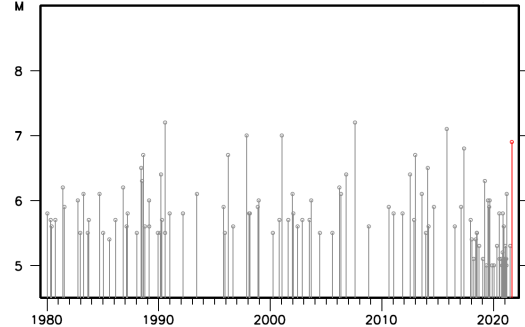
領域a内の震央分布図
(1980年1月1日～2021年8月31日、深さ0～300km、M \geq 5.0)



※吹き出しは、今回の地震と領域c内のM7.0以上の地震



領域c内のM-T図



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。吹き出しのある地震のうち、「GCMT」が付いた発震機構はGlobal CMT、それ以外の発震機構は気象庁による。震源データは、2017年まではISCDEM (ver. 8.0)、2018年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2021年9月1日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.